

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

3月19日(日)

- ◆内科 おおはた内科循環器クリニック 三光町 38-8500
- ◆外科 苦小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 佐賀歯科医院 豊川町 76-8878

3月21日(火) 春分の日

- ◆内科 たかやなぎ小児科 日新町 71-2115
- ◆外科 とまこまい脳神経外科 光洋町 75-5111
- ◆歯科 榊原歯科医院 錦西町 67-6655

診療時間：内科・外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時
本紙は、毎週火曜日に編集しますので、その後に休日当番医が変更になってお知らせすることはできません。
ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



3月24日(金)
川上有 弁護士

(定員になり次第締め切りです)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

コロナに安心して医療受けれる体制確保を

市立病院会計の予算審査

小野寺議員 5類移行の影響質す



る医療機関への財政支援は大半を縮小すると決めました。公的責任の後退です。これまで市立病院は、コロナ対策病院として役割を担うことで国から空床補償などの補助金を受け、財政的に大きなメリットがありました。5類移行後は補助金がもたらえなくなり、小野寺委員は、5月まではコロナ病床を維持しなくてはならず、万が一コロナ感染が収まらないうと、再び市立病院が対応を担うことになる

と指摘し、国に対し空床補償などの継続を求めるべきと提案しました。病院事務部長は、全国自治体病院協議会道支部を通じて、国に求めていることを明らかにし、また経営を安定させるためにその根幹となる病院全体の病床規模なども検討して、23年度策定予定の「経営強化プラン」に反映させたいと答えました。

新たな経営負担強いマイナ保険証

病院経営への新たな負担として、マイナナンバーカード(マイナ保険証)対応機器の設備投資があります。市立病院では、顔認証付カードリーダー4台分の設置にともなう改修費に約630万円かかり、維持費に月約10万円の費用を要します。改修費については約230万円の補助金があるものの残り約400万円は病院の持ち出しです。

マイナカード強制になる健康保険証の廃止撤回を日本共産党

5類移行後も公的支援求める意見書 可決

共産党が提案

脱原発の会の「40年守れ」陳情否決

定例苦小牧市議会は10日、除雪に必要な雪氷対策費を追加する補正予算案や副市長の人事案などの議案を原案通り可決し、閉会しました。

「新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に移行した後も、医療機関や感染者への公的支援を継続することを求める意見書」など議員提出の意見書案3件と、北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議案を可決しました。

小野寺委員は、マイナ

コロナ5類移行後も公的支援を継続する意見書案は、日本共産党市議会が提案したもので、「感染を収束させるには、受診抑制せず安心して医療にかかれ、医療体制の強化維持のための公的支援が不可欠で地域経済を支える上で重要」としています。公明党議員団は承認しませんでした。

脱原発の会が提出した原発運転原則40年を守ることを求める陳情は否決されました。



小野寺委員は、マイナ

小野寺委員は、マイナ

大軍拡許さず共産党の躍進を

志位委員長迎え札幌演説会

戦争前夜にしない



日本共産党道委員会札幌市内で12日、目前に迫った統一地方選挙の躍進と勝利を期して、志位和夫委員長を迎えた演説会を開催しました。

志位委員長は、「岸田政権の大軍拡を許していいかは、統一地方選挙の大争点です」とのべ、大軍拡の実態と危険性を丁寧に告発。全国約300の自衛隊施設を核兵器などによる攻撃にも耐えられるよう「地下化」する計画が進められていると指摘し、「道内では50もの施設が対象になっており、その多くが市街地に隣

接しています。仮に自衛隊が生き残っても、住民は大被害です」と批判しました。

志位委員長は、日本共産党が掲げる「平和の対案」を力説するとともに、「日本の政治を救う」共産党の歴史的役割を強調。一部大手メディアなどによる新たな反共キャンペーンに反論し、「反共は戦争前夜の声」、これが歴史の教訓です。北海道が生んだ小林多喜二や野呂栄太郎が弾圧で命を落とし、その後によつてきたのが太平洋戦争です。日本を再び『戦争前夜』にし

てはなりません。共産党勝利という回答を示しましょう」と訴えました。

志位委員長は、北海道の大問題として、鉄路の問題で廃止が強行されるなかで、根本には分割・民営化が破たんするもどで、先頭になって廃止を推進する国の責任があると指摘しました。

農業と酪農の問題では、えさ代の急騰に生乳価格が見合わず悲鳴があがる一方、岸田政権は乳牛の淘汰を推進する対策をとっていると批判し、国が飼料価格の高騰分を直接補てんせよと訴えました。

最後に志位委員長は、「強くて大きな共産党をつくって選挙に勝つために、どうかご協力を」と呼びかけました。

泊再稼働認めないと明言すべき

菊地道議 知事を追及 再エネ予算増求める



事の姿勢をただしました。

菊地議員は、泊原発の再稼働にかかり、原発の運転期間が科学的根拠も示されずに「原則40年」とされ、岸田政権下では60年超も可能としたが、道が科学的根拠の説明を求めて11年が過ぎており、「安全性について科学的根拠は国から説明されているか」と追及しました。

鈴木知事は、「国から科学的根拠の説明は受けていない」と答弁。引き続き説明を

北海道議会の予算特別委員会6日、今期で勇退する日本共産党の菊地葉子議員が最後の質問に立ち、北電泊原発の再稼働問題や、再生可能エネルギー普及をめぐる鈴木知

九条生がして 平和をつくろう 苦小牧集会!

●3月21日(火) 13時30分
●市役所正面玄関前広場
手製のプラカードなど掲げ
集会、デモ行進で大軍拡阻もう

主催：平和憲法を生かす苦小牧連絡会
連絡先：佐々木さん 32-5778

国会かけある記 紙ともこで



原発回帰はありえない

3・11東日本大震災、東京電力福島第一原発事故から12年。あの日を境に世の中が変わったという感覚は、私だけではな

いと思います。大きな揺れと津波による壊滅的な被害、「原発事故は起きない」とする安全神話が崩れ去りました。被害の大きさは国内外で大きな衝撃となり、世論に押されて政府は廃炉を決めました。二度と原発事故を起こしてはならない。この思いは「原発いらない! 再稼働反対!」の官邸前行動に、全国各地の取り組みに広がりました。政府と企業の言うことを鵜呑み

「原子力、明るい未来のエネルギー」というキャッチフレーズで表彰された中学生は大人になって、「あの事故で人生が一変した。原発回帰はありえない」と語ります。原発事故は昔の話ではありません。反省もなければ、まともな賠償もしない。こんな人々には退場を願いたい。



参院復興特別委で大震災被災者に黙祷 (10日)

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

日本共産党は、トルコとシリアにまたがる大地震で緊急支援募金を受け付けています。